

吉川 国民健康保険の安定運営のために、平成24年度から平成29年度まで毎年5千万円の一般会計から国保会計への繰入れを決めたが、単年度収支は改善されない状況である。繰入れの大幅な増額で手を打つべきではないか。
樋渡市長 一般会計からの繰入れについては今後の医療費の増加に対応するため、税率の改正と併せて検討していきたい。

吉川 武雄市は25年度から保険税を平均12.9%引き上げている。4人世帯のモデルケースで見ると42万1700円から47万6000円へと年間5万4300円の負担増となっている。これ以上の負担増となれば年間所得300万円前後の世帯は衣食住の費用を削らなければならない。税の見直しは最小限にとどめるべきだ。平成29年度を目途に保険者の県一本

化への移行が予定されているが、国保制度の安定運営といった根本対策にはならない。給付は国、保険料は市といった管理を見直し国による一元管理を要望すべきではないか。
樋渡市長 安定した保険環境を整えるためにも国による一元化が望ましく、市長会でも要望を行っている。自民党を中心に議員からも強く働きかけをお願いしたい。

質問② 老人福祉の充実を!

吉川 特別養護老人ホームへの入所待機者が全国で52万人、佐賀県で4604人、武雄市でも240人にのぼる。武雄市では4箇所の施設に200人しか入所出来ない。特養に替わる代替施設としてグループホームの増設をすべきではないか。
中野部長 広域組合の構成市として、介護保険運営協議会へ増設の要望を出していきたい。

吉川 27年度からの第6期介護保険事業計画にのるようお願いしたい。次に、養護老人ホームの入所率が92.9%と低下している。養護老人ホームは身寄りがなかったり、自力では暮らせない高齢者を受け入れる施設であるが、入所制限をしているのではないか。
中野部長 入所制限はしていない。基準に従って判断している。

吉川 養護老人ホームの入所状況を見ると、武雄市民の半数以上が市外の養護施設に入所しておられる。福祉の費用は生活の為に使われるものであり市内で消費され市内の経済につながるよう、市内施設への入所を勧めるべきではないか。
中野部長 市役所窓口での受付相談時には、市内施設を考慮するようにしたい。

質問③ 生活インフラの充実!

●道路・排水路・公園の整備方針を

近年住宅開発が進む甘久地区を例にとり、今後の各地区要望に対する整備のあり方について質問しました。
森まちづくり部長からは、優先順位を決め地域と協議を重ね推進していくとの答弁をいただきました。

●図書館のパーキングパーミットの充実を

101台分の図書館駐車場のうち、妊婦さんやお体の不自由なお客様の駐車場は2台分と少ないことについて考え方をたしました。
溝上教育部長からは、本当にお困りの皆さんために増設をするとの答弁をいただきました。

質問④ 公共料金の見直し!

●水道料金の格差是正を

基本料金1836円(6㎡~10㎡)と軽減料金865円(0㎡~5㎡)の格差が2.1倍あり不公平だと質問しました。
筒井上下水道部長からは、10月からの水道料金値下げ(予定)にあわせて見直しを図るとの答弁をいただきました。

質問⑤ 学校給食民間委託!

●調理従事者等の賃金アップを

委託契約額は最低制限価格を設定することにより、前回より8%~45%上がっている。また、賃金については30円~60円のアップになっていると答弁いただきました。
次回の一般質問では、更に随意契約や総合評価方式を導入することによって、額に汗して働く皆さんの賃金が従来の賃金に一日も早くもどるよう提案してまいります。

予算可決成立しました (一部抜粋)

- 消防団員退職金改定 一律5万円増額(最低20万円)
- 消防格納庫新設(北上滝)
- 防火水槽新設工事(船の原ほか2箇所)
- 北方中学校エレベータ設計
- 西杵住宅手摺り設置工事
- 浸水対策調査解析(北方地区)

- 小楠永島線測量(新武雄病院横)
- 公共下水道事業全体計画変更
- 競輪場施設改修計画
- 給湯事業管布設替え
- 新たな学校づくり推進事業(官民一体型学校)
- コミュニティ助成事業(神六、北檜崎、船の原、犬走)